第98期

# 事業のご報告

2010年3月期（2009年4月1日～2010年3月31日）

株式会社 マキタ

# CONTENTS





# 株主の皆様へ

第98期（2010年3月期）の事業の概況ならびに決算の内容についてご報告申しあげます。

**■当期の概況と当社グループの主な取組み**

当期における経済情勢を見ますと、世界同時不況の影響により、かつてないほどの厳しい経済状況にありましたが、各国の景気対策効果や新興国の経済成長などにより少しずつ明るさを取り戻す地域も出てきました。欧州では東欧・ロシア地域で回復は遅れていますが、ドイツやフランスなど西欧地域では緩やかな回復傾向を示しました。アジアでは中国の順調な経済成長に伴い、周辺諸国でも活発な投資活動が見られるようになりました。一方、日本や米国では景気は緩やかに持ち直しつつあるものの、依然として住宅着工数は低調に推移するなど本格的な回復には至りませんでした。

また世界の電動工具需要は、先進国では一昨年の金融不況以前に比べて大きく減少し、その後の回復も遅れていますが、新興国の中にはいち早く回復傾向を示した国も見られました。

このような情勢の中、当社グループでは全社を挙げてコスト削減活動に取り組むとともに、経営基盤の整備を着実に実行いたしました。開発面では、小型・軽量化、低騒音・低振動を追求した電動工具、充電式工具、園芸用機器などの製品群を継続的に拡充したほか、昨年10月には東京技術開発センターを開設し、小型エンジンの環境性能を高めるための体制を強化しました。生産面においては、高付加価値製品を多品種少量生産する国内工場および量産品の生産拠点である中国工場を中軸とするグローバル生産体制において、急激な需要の変動に迅速且つ柔軟に対応しながら高品質ブランドを維持するための生産体質の強化に努めま

した。営業面では、フランス、オランダ、ポーランドにおける販売子会社の社屋を建て替え、販売店向け研修機能を強化したほか、昨年11月にはベトナムに販売子会社を設立するなど、業界No.1の販売・アフターサービス体制を一層充実させました。

**■世界不況と円高の影響で連結業績は減収減益**

当期の連結業績は、世界同時不況により需要が大きく減少したことに加え、為替レートが前年対比で円高に推移したことにより売上が目減りしたことなどから、売上高は245,823百万円と前期を16.4%下回る結果となりました。

利益面においては、在庫調整のための減産により工場の稼働率が低下し売上原価率が上昇したほか、2007年5月に取得したマキタ沼津に関するのれんおよび長期性資産に対して、約16億円の減損損失を認識したことなどにより、営業利益は前期を39.3%下回る30,390百万円（営業利益率12.4%）となりました。一方、為替差益が発生したことなどにより営業外損益は前期に比べ大幅に改善したものの、税金等調整前当期純利益は、前期比24.6%減の33,518百万円（税金等調整前当期純利益率13.6%）に留まりました。また、当社株主に帰属する当期純利益は、前期比33.1%減の22,258百万円（当社株主に帰属する当期純利益率9.1%）となりました。

なお、地域別の販売状況は次のとおりです。

国内は、住宅需要が引き続き低調に推移したことなどから、前期比7.6%減の42,697百万円となりました。

欧州は、ドイツやフランスなどで需要が底堅く推移しましたが、東欧・ロシア市場では回復が遅れており、また欧州通貨に対して円高が進んだことなどから、前期比20.4%減の109,106百万円となりました。

北米は、米国においてホームセンター向けを中心としたクリスマス商戦で健闘したものの、期を通じて住宅需要は低迷したことなどから、前期比18.4%減の34,509百万円となりました。

アジアは、中国の経済成長を背景に下半期からは東南アジア諸国の需要が回復してきましたが、上半期の落ち込みの影響が大きく、前期比16.5%減の18,373百万円となりました。

その他の地域は、中南米は、ブラジルをはじめとして現地通貨ベースでは堅調に推移したものの、前期に比べて為替が円高であったことなどから、前期比9.0%減の15,228百万円となりました。オセアニアは、オーストラリアの需要は堅調に推移したものの、前期比0.7%減の13,116百万円となりました。中近東・アフリカは、ドバイショックの影響など市場環境が厳しい状況で推移したことなどにより、前期比22.3%減の12,794百万円となりました。

**■対処すべき課題**

今後の見通しにつきましては、先進国における需要の回復は緩やかなものに留まり、厳しい企業間競争が展開されることが見込まれます。一方、住宅をはじめ継続的に建設需要が期待されるアジアなどの新興諸国において、低価格指向の強い市場が成長することが予想されます。また、原材料価格の上昇や為替相場の動向は予断を許さず、当社グループを取り巻く経営環境は、依然厳しい状況が続くものと思われます。

こうした状況をふまえて当社グループは作業環境・地球環境に優しい電動工具や園芸用機器等に関する研究開発力・製品開発力、小型エンジンの技術開発力の強化、需要環境の変化に対応したグローバル生産体制の体質強化、さらには国内および海外各地域における業界No.1の販売・アフターサービス体制を維持・強化することにより、高いブランド力を構築し「Strong Company（ストロング カンパニー）」の実現、すなわち世界各地域におけるプロ用電動工具をはじめ、エア工具、園芸用機器など工具の国際的総合サプライヤーとしてトップシェアの維持・獲得を目指してまいります。

**■年間配当金は1株につき52円**

当社は、年間配当金18円を下限とし、連結配当性向30%以上とすることを利益配分の基本方針としております。なお、特殊要因がある場合には、これを加減算した調整後の当社株主に帰属する当期純利益を基に配当額を決定いたします。この基本方針に従い、当期の期末配当金は1株につき37円とさせていただきました。なお、昨年11月にお支払いした中間配当15円と合わせて年間配当金は1株につき52円となっております。

株主の皆様におかれましては、今後とも格別のご支援ご協力を賜りますようお願い申しあげます。

2010年6月

取締役社長　後藤昌彦

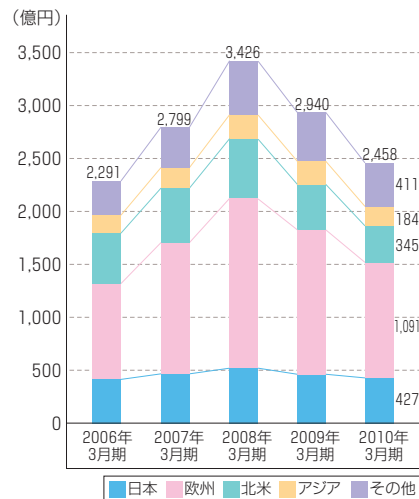
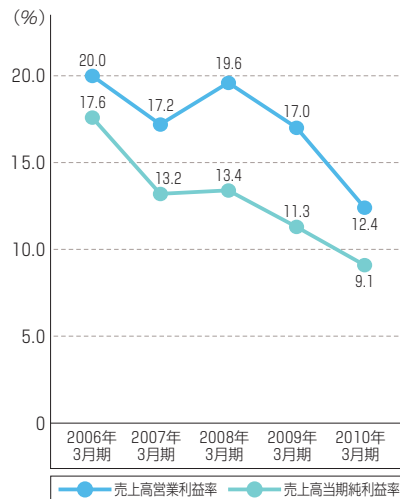
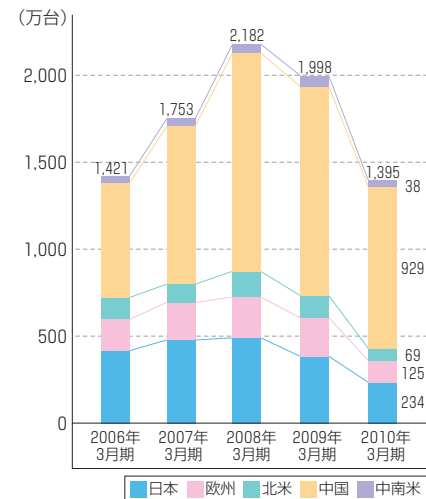
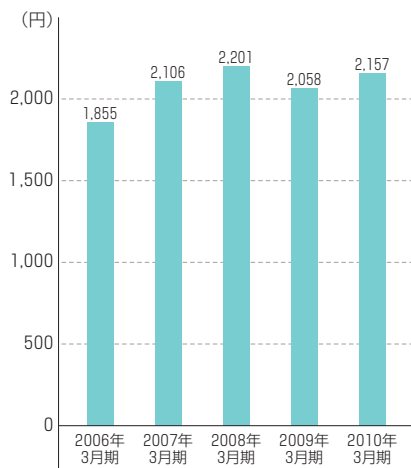
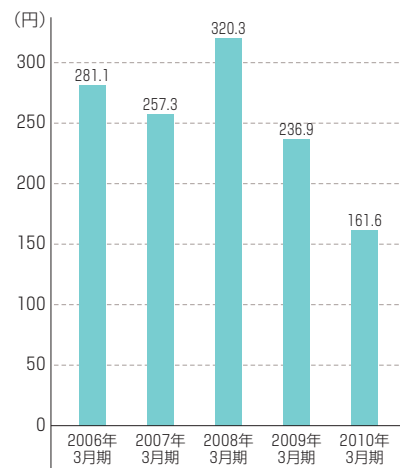
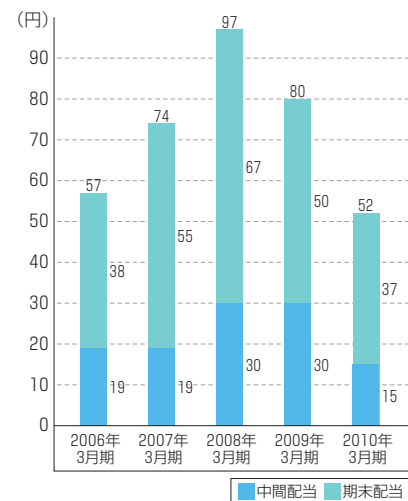
# 連結業績の推移

## 主な経営指標 （米国会計基準）

（単位：百万円）

| | 2007年3月期 | 2008年3月期 | 2009年3月期 | 2010年3月期 | 増減率（%） |
|---|---|---|---|---|---|
| 連結売上高 | 279,933 | 342,577 | 294,034 | 245,823 | △ 16.4 |
| 営業利益 | 48,176 | 67,031 | 50,075 | 30,390 | △ 39.3 |
| 売上高営業利益率 | 17.2% | 19.6% | 17.0% | 12.4% | — |
| 税金等調整前当期純利益 | 49,724 | 66,237 | 44,443 | 33,518 | △ 24.6 |
| 当社株主に帰属する当期純利益 | 36,971 | 46,043 | 33,286 | 22,258 | △ 33.1 |
| 売上高当期純利益率 | 13.2% | 13.4% | 11.3% | 9.1% | — |
| 当社株主の資本合計 | 302,675 | 316,498 | 283,485 | 297,207 | 4.8 |
| 総資産 | 368,494 | 386,467 | 336,644 | 349,839 | 3.9 |
| 株主資本比率 | 82.1% | 81.9% | 84.2% | 85.0% | — |
| 設備投資額 | 12,980 | 15,036 | 17,046 | 10,837 | △ 36.4 |
| 減価償却費 | 8,773 | 8,871 | 8,887 | 8,308 | △ 6.5 |
| 研究開発費 | 5,460 | 5,922 | 6,883 | 6,782 | △ 1.5 |
| 従業員数（人） | 9,062 | 10,436 | 10,412 | 10,328 | △ 0.8 |
| 期中平均株式数（株） | 143,706,789 | 143,749,824 | 140,518,582 | 137,762,051 | — |
| 1株当たり当社株主に帰属する当期純利益（円） | 257.3 | 320.3 | 236.9 | 161.6 | △ 31.8 |
| 1株当たり配当金（円） | 74.0 | 97.0 | 80.0 | 52.0 | — |

（注）1.上記およびこの報告書で記載している金額は原則として百万円未満を四捨五入して表示しております。
2.前期までの連結財務諸表について、当期の表示方法に合わせて組替えおよび修正表示をしております。
「当社株主に帰属する当期純利益」は、2009年3月期までの「当期純利益」と同じ内容です。
3.当社は「利益配分に関する基本方針」（13ページをご参照ください）に記載のとおり、特殊要因がある場合には、これを加減算した調整後の当社株主に帰属する当期純利益を基に配当額を決定しております。当期においてマキタ沼津に関するのれんおよび長期性資産に対する減損損失約16億円を販売費及び一般管理費に計上しておりますが、配当金算出の際にはこれを特殊要因として加算しております。

## 地域別売上高

## 営業利益率・当社株主に帰属する当期純利益率

## 地域別生産台数

## 1株当たり株主資本

## 1株当たり当社株主に帰属する当期純利益

## 1株当たり配当金

# 連結決算の概要

## 連結貸借対照表 （米国会計基準）

（単位：百万円）

| | 2009年3月期 | 2010年3月期 | 増　減 |
|---|---|---|---|
| **資産の部** | | | |
| **流動資産** | | | |
| 現金及び現金同等物 | 34,215 | 62,290 | 28,075 |
| 定期預金 | 2,623 | 8,383 | 5,760 |
| 短期投資 | 29,470 | 33,639 | 4,169 |
| 受取手形 | 2,611 | 2,214 | △ 397 |
| 売掛金 | 43,078 | 43,680 | 602 |
| 貸倒引当金 | △ 1,129 | △ 1,010 | 119 |
| 棚卸資産 | 111,002 | 88,811 | △ 22,191 |
| 繰延税金資産 | 7,264 | 6,434 | △ 830 |
| その他の流動資産 | 11,269 | 9,356 | △ 1,913 |
| **流動資産合計** | **240,403** | **253,797** | **13,394** |
| **有形固定資産** | | | |
| 土地 | 18,173 | 19,050 | 877 |
| 建物及び構築物 | 65,223 | 70,668 | 5,445 |
| 機械装置及び備品 | 74,458 | 74,652 | 194 |
| 建設仮勘定 | 4,516 | 2,257 | △ 2,259 |
| 減価償却累計額 | △ 89,674 | △ 93,427 | △ 3,753 |
| **有形固定資産合計** | **72,696** | **73,200** | **504** |
| **投資その他の資産** | | | |
| 投資 | 11,290 | 15,166 | 3,876 |
| 繰延税金資産 | 5,050 | 1,611 | △ 3,439 |
| その他の資産 | 7,205 | 6,065 | △ 1,140 |
| **投資その他の資産合計** | **23,545** | **22,842** | **△ 703** |
| **資産合計** | **336,644** | **349,839** | **13,195** |

| | 2009年3月期 | 2010年3月期 | 増　減 |
|---|---|---|---|
| **負債の部** | | | |
| **流動負債** | | | |
| 短期借入金 | 239 | 385 | 146 |
| 支払手形及び買掛金 | 14,820 | 18,359 | 3,539 |
| 未払給与及び賞与 | 7,361 | 6,835 | △ 526 |
| その他の未払費用等 | 15,575 | 15,120 | △ 455 |
| 未払法人税等 | 2,772 | 1,722 | △ 1,050 |
| 繰延税金負債 | 50 | 40 | △ 10 |
| **流動負債合計** | **40,817** | **42,461** | **1,644** |
| **固定負債** | | | |
| 長期債務 | 818 | 544 | △ 274 |
| 退職給付引当金 | 7,116 | 3,778 | △ 3,338 |
| 繰延税金負債 | 548 | 677 | 129 |
| その他の負債 | 1,599 | 2,706 | 1,107 |
| **固定負債合計** | **10,081** | **7,705** | **△ 2,376** |
| **負債合計** | **50,898** | **50,166** | **△ 732** |
| **資本の部** | | | |
| **当社株主の資本** | | | |
| 資本金 | 23,805 | 23,805 | — |
| 資本剰余金 | 45,420 | 45,420 | — |
| 利益剰余金 | 263,156 | 276,459 | 13,303 |
| その他の包括利益（△損失）累計額 | △ 42,461 | △ 42,032 | 429 |
| 自己株式、取得原価 | △ 6,435 | △ 6,445 | △ 10 |
| **当社株主の資本合計** | **283,485** | **297,207** | **13,722** |
| **非支配持分** | **2,261** | **2,466** | **205** |
| **資本合計** | **285,746** | **299,673** | **13,927** |
| **負債及び資本合計** | **336,644** | **349,839** | **13,195** |

**資産の部**　前期比3.9%増

- 在庫調整のための減産により棚卸資産は前期末より222億円減少し888億円となりました。
- 海外販売子会社の新社屋建設などにより（P12参照）、建物及び構築物は前期末より54億円増え707億円となりました。

**資本の部**　前期比4.9%増

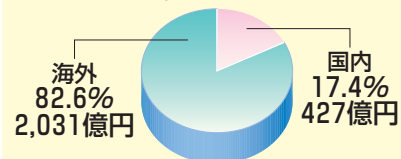
資本の部では当社株主の資本合計が前期末より137億円増加し、2,972億円となりました。この結果、当社の自己資本比率は前年の84.2%から0.8ポイント上昇し、85.0%となりました。

## 連結損益計算書 （米国会計基準）

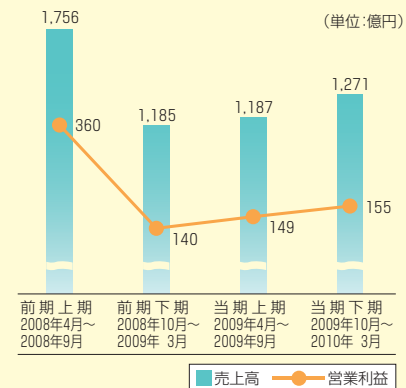
（単位：百万円）

| | 2009年3月期 | 2010年3月期 | 増減額 | 増減率（%） |
|---|---|---|---|---|
| **売上高** | **294,034** | **245,823** | **△ 48,211** | **△ 16.4** |
| 売上原価 | 170,894 | 149,938 | △ 20,956 | △ 12.3 |
| **売上総利益** | **123,140** | **95,885** | **△ 27,255** | **△ 22.1** |
| 販売費及び一般管理費 | 73,065 | 65,495 | △ 7,570 | △ 10.4 |
| **営業利益** | **50,075** | **30,390** | **△ 19,685** | **△ 39.3** |
| **営業外損益** | **△ 5,632** | **3,128** | **8,760** | — |
| 受取利息及び配当金 | 1,562 | 881 | △ 681 | △ 43.6 |
| 支払利息 | △ 236 | △ 71 | 165 | △ 69.9 |
| 為替差損益（純額） | △ 3,408 | 2,044 | 5,452 | — |
| 有価証券実現損益（純額） | △ 3,548 | 274 | 3,822 | — |
| その他（純額） | △ 2 | — | 2 | — |
| **税金等調整前当期純利益** | **44,443** | **33,518** | **△ 10,925** | **△ 24.6** |
| 法人税等 | 10,731 | 10,952 | 221 | 2.1 |
| 当期税額 | 11,277 | 8,760 | △ 2,517 | △ 22.3 |
| 期間配分調整額 | △ 546 | 2,192 | 2,738 | — |
| **当期純利益** | **33,712** | **22,566** | **△ 11,146** | **△ 33.1** |
| 非支配持分に帰属する当期純利益 | △ 426 | △ 308 | 118 | △ 27.7 |
| **当社株主に帰属する当期純利益** | **33,286** | **22,258** | **△ 11,028** | **△ 33.1** |
| **1株当たり当社株主に帰属する当期純利益** | **236.9円** | **161.6円** | **△ 75.3円** | |
| **期中平均為替相場** | | | | |
| 円/ドル | 100.7円 | 92.9円 | 7.8円高 | |
| 円/ユーロ | 144.1円 | 131.2円 | 12.9円高 | |

**売上高** 「世界不況と円高により減収」

**2,458億円**

売上高は前年同期に比べ16.4%減少し、2,458億円となりました。
為替レートは全通貨の加重平均で9.6%の円高となり、その影響で売上高が215億円目減りしています。

**前年下期を底に緩やかに回復傾向**

半期ベースで比較すると、前年上期の1,756億円をピークに下期は1,185億円と急激に業績が低下しましたが、当期の上期以降は緩やかな回復傾向を示しました。

# 連結決算の概要

## ■ 連結キャッシュ・フロー計算書 （米国会計基準）

（単位：百万円）

| | 2009年3月期 | 2010年3月期 |
|---|---|---|
| **営業活動によるキャッシュ・フロー** | | |
| **当期純利益** | **33,712** | **22,566** |
| **営業活動による純増への修正** | **△ 11,534** | **34,560** |
| 減価償却費 | 8,887 | 8,308 |
| 法人税等期間配分調整額 | △ 546 | 2,192 |
| 売却可能有価証券実現損（△益）、純額 | 3,548 | △ 274 |
| 固定資産売除却損、純額 | 430 | 284 |
| 減損損失 | — | 1,605 |
| 流動資産・負債の変動 | | |
| 受取手形及び売掛金 | 9,555 | △ 29 |
| 棚卸資産 | △ 17,314 | 20,738 |
| 支払債務及び未払費用 | △ 10,005 | 3,013 |
| 未払法人税等 | △ 4,589 | 1,480 |
| 退職給付債務 | △ 2,297 | △ 1,615 |
| その他、純額 | 797 | △ 1,142 |
| **営業活動による純増** | **22,178** | **57,126** |
| **投資活動によるキャッシュ・フロー** | | |
| 資本的支出 | △ 17,046 | △ 10,837 |
| 売却可能有価証券の購入 | △ 375 | △ 4,996 |
| 満期保有目的有価証券の購入 | — | △ 1,522 |
| 売却可能有価証券の売却 | 15,310 | 1,967 |
| 売却可能有価証券の償還 | 2,500 | 500 |
| 満期保有目的有価証券の償還 | 600 | 350 |
| 固定資産の売却 | 135 | 299 |
| 定期預金の増加、純額 | △ 560 | △ 3,375 |
| その他、純額 | △ 332 | △ 54 |
| **投資活動による純増（△減）** | **232** | **△ 17,668** |
| **財務活動によるキャッシュ・フロー** | | |
| 短期借入金の減少、純額 | △ 1,345 | △ 7 |
| 自己株式の取得及び売却、純額 | △ 17,640 | △ 10 |
| 配当金 | △ 13,855 | △ 8,955 |
| その他、純額 | △ 339 | △ 142 |
| **財務活動による純減** | **△ 33,179** | **△ 9,114** |
| 換算レートの変動に伴う影響額 | △ 1,322 | △ 2,269 |
| **現金及び現金同等物の増減** | **△ 12,091** | **28,075** |
| **現金及び現金同等物期首残高** | **46,306** | **34,215** |
| **現金及び現金同等物期末残高** | **34,215** | **62,290** |

### フリー・キャッシュ・フロー

**営業活動によるキャッシュ・フロー　571億円**
**投資活動によるキャッシュ・フロー　△176億円**

**395億円**

当期のフリー・キャッシュ・フローは、当期純利益が前期より約111億円減少したものの、在庫調整のための減産により棚卸資産が大きく減少したことなどから前期に比べて170億円増加し、395億円となりました。

### 財務活動によるキャッシュ・フロー

**△91億円**

配当金の支払いなどにより91億円の資金支出となりました。

### キャッシュ増加額

**281億円**

以上の結果に為替換算による減少23億円を含め、キャッシュ増加額は281億円となりました。

## 所在地別セグメント情報 （米国会計基準）

（単位：百万円）

| 売上高 | | 2009年3月期 | 2010年3月期 | 増減 |
|---|---|---|---|---|
| 日本 | 外部顧客 | 63,859 | 55,767 | △ 8,092 |
| | セグメント間 | 56,371 | 33,309 | △ 23,062 |
| | **計** | **120,230** | **89,076** | **△ 31,154** |
| 欧州 | 外部顧客 | 137,230 | 109,484 | △ 27,746 |
| | セグメント間 | 4,154 | 2,809 | △ 1,345 |
| | **計** | **141,384** | **112,293** | **△ 29,091** |
| 北米 | 外部顧客 | 42,446 | 34,547 | △ 7,899 |
| | セグメント間 | 4,690 | 1,847 | △ 2,843 |
| | **計** | **47,136** | **36,394** | **△ 10,742** |
| アジア | 外部顧客 | 9,954 | 9,007 | △ 947 |
| | セグメント間 | 86,697 | 57,820 | △ 28,877 |
| | **計** | **96,651** | **66,827** | **△ 29,824** |
| その他 | 外部顧客 | 40,545 | 37,018 | △ 3,527 |
| | セグメント間 | 121 | 98 | △ 23 |
| | **計** | **40,666** | **37,116** | **△ 3,550** |
| 合計 | 外部顧客 | 294,034 | 245,823 | △ 48,211 |
| | セグメント間 | 152,033 | 95,883 | △ 56,150 |
| | **計** | **446,067** | **341,706** | **△ 104,361** |
| セグメント間消去 | | △ 152,033 | △ 95,883 | 56,150 |
| **連結合計** | | **294,034** | **245,823** | **△ 48,211** |

| 営業利益 | 2009年3月期 | 2010年3月期 | 増減 |
|---|---|---|---|
| 日本 | 8,121 | △ 643 | △ 8,764 |
| 欧州 | 19,716 | 12,875 | △ 6,841 |
| 北米 | 845 | 360 | △ 485 |
| アジア | 12,213 | 8,880 | △ 3,333 |
| その他 | 4,850 | 2,174 | △ 2,676 |
| 合計 | 45,745 | 23,646 | △ 22,099 |
| セグメント間消去 | 4,330 | 6,744 | 2,414 |
| **連結合計** | **50,075** | **30,390** | **△ 19,685** |

| 総資産 | 2009年3月期 | 2010年3月期 | 増減 |
|---|---|---|---|
| 日本 | 235,252 | 232,226 | △ 3,026 |
| 欧州 | 110,897 | 110,009 | △ 888 |
| 北米 | 33,533 | 30,281 | △ 3,252 |
| アジア | 48,311 | 58,148 | 9,837 |
| その他 | 36,134 | 39,229 | 3,095 |
| 合計 | 464,127 | 469,893 | 5,766 |
| セグメント間消去 | △ 127,483 | △ 120,054 | 7,429 |
| **連結合計** | **336,644** | **349,839** | **13,195** |

### 所在地別セグメント

所在地別セグメントは当社グループ49社を所在地ごとにグルーピングした区分であり、所在地別の収益貢献度などを知る上で有効な情報となります。当期は日本の営業利益が大きく減少していますが、これには減損損失約16億円が含まれており、これを除くと約10億円の営業利益となります。
なお4ページの地域別売上高は、販売地域別の売上高を集計しているため、所在地別セグメントの売上高とは異なります。

### 電動工具の地域性

- **日　本**ー住宅のプレハブ、プレカット化が進み、インパクトドライバなどのネジ締め工具の需要が多い。
- **欧　州**ー石造りや煉瓦造りの建築物が多いため、ハンマドリルなどの石工用電動工具の需要が多い。
- **北　米**ーDIYが盛んであり、一般世帯でも電動工具を保有する。クリスマスにプレゼントをすることも多い。
- **アジア**ー比較的石造りの住宅が多く、グラインダや振動ドリルなどの需要が多い。ロングセラー製品が多いことも特徴。
- **その他**ー中南米、中近東・アフリカでは石工用電動工具、オセアニアでは木工用電動工具の需要が多い。

# 新製品ダイジェスト

## ★表紙の製品

### 65mm高圧エア釘打 AN630H

当社独自の
「可動式ドライバガイド」
搭載により切替の手間なく
細い釘から太い釘まで
幅広く使用可能

### 90mm高圧エア釘打 AN900HX

ハイパワーで硬質材にも
余裕で釘打ち
新JIS規格のN90釘に対応

### エアコンプレッサ AC460XLB

業界最高タンク内圧力46気圧!
(2010年2月現在、当社調べ)で
連続釘打ち本数が大幅に増加

### 充電式インパクトドライバ TD133DRFX/W/B

多種多様な材料にパワフル対応
ブラシレスモータ搭載でメンテナンスフリー

### 充電式クリーナ CL141FDRFW

ワンタッチスイッチ仕様で
連続運転が可能
吸引力(強/標準)の切替も
ワンタッチでできる

### 充電式ミニ生垣バリカン MUH260DW

### エンジンチェンソー MDE354

優れた振動低減構造で
ハードな作業での
作業者への負担を軽減
楽らくスタート付でスムーズな始動

### 集じん機 490

パワフル集じん機　吸込仕事率300W

大型キャスタベース
採用により
倒れにくく、
安定した移動
を実現

### 充電式小型集じん機 VC340DRF

業界初の充電式小型集じん機

コードレスにより
優れた取り回しを実現

### 屋内・屋外兼用墨出し器 SK308PH

耐衝撃構造で高精度を維持

日常的な振動から
本機をしっかりガード

# 単独決算の概要

## ■ 貸借対照表（要約）

（単位：百万円）

| 科　　目 | 2009年3月期 | 2010年3月期 |
|---|---|---|
| **資産の部** | | |
| **流動資産** | **76,978** | **76,697** |
| 現金及び預金 | 1,645 | 5,318 |
| 受取手形及び売掛金 | 17,801 | 18,141 |
| 有価証券 | 21,337 | 26,575 |
| たな卸資産 | 12,970 | 11,871 |
| 関係会社短期貸付金 | 18,922 | 11,191 |
| その他の流動資産 | 4,303 | 3,601 |
| **固定資産** | **151,524** | **150,085** |
| **有形固定資産** | **40,413** | **37,791** |
| 建物 | 19,553 | 20,492 |
| 機械及び装置 | 2,977 | 2,158 |
| 土地 | 12,813 | 12,758 |
| その他の有形固定資産 | 5,070 | 2,383 |
| **無形固定資産** | **990** | **3,388** |
| **投資その他の資産** | **110,121** | **108,906** |
| 投資有価証券 | 19,422 | 22,223 |
| 関係会社株式･出資金 | 81,332 | 79,250 |
| その他の投資等 | 9,367 | 7,433 |
| **資産合計** | **228,502** | **226,782** |
| (注)有形固定資産の減価償却累計額 | 61,181 | 64,252 |

| 科　　目 | 2009年3月期 | 2010年3月期 |
|---|---|---|
| **負債の部** | | |
| **流動負債** | **13,872** | **13,317** |
| 支払手形 | 324 | 224 |
| 買掛金 | 4,104 | 5,732 |
| 役員賞与引当金 | 128 | 96 |
| 製品保証引当金 | 278 | 389 |
| その他の流動負債 | 9,038 | 6,876 |
| **固定負債** | **640** | **2,746** |
| 退職給付引当金 | 190 | 183 |
| 役員退職慰労引当金 | 450 | 384 |
| その他の固定負債 | － | 2,179 |
| **負債合計** | **14,512** | **16,063** |
| **純資産の部** | | |
| 資本金 | 24,206 | 24,206 |
| 資本剰余金 | 47,525 | 47,525 |
| 利益剰余金 | 147,327 | 141,627 |
| その他有価証券評価差額金 | 1,368 | 3,806 |
| 自己株式 | △　6,436 | △　6,445 |
| **純資産合計** | **213,990** | **210,719** |
| **負債純資産合計** | **228,502** | **226,782** |

## ■ 損益計算書（要約）

（単位：百万円）

| 科　　目 | 2009年3月期 | 2010年3月期 |
|---|---|---|
| **売上高** | **113,976** | **82,657** |
| 売上原価 | 79,559 | 57,869 |
| 販売費及び一般管理費 | 26,935 | 25,211 |
| **営業利益又は営業損失（△）** | **7,482** | **△　423** |
| 営業外収益 | 11,157 | 7,860 |
| 営業外費用 | 908 | 18 |
| **経常利益** | **17,731** | **7,419** |
| 特別利益 | 477 | 196 |
| 特別損失 | 3,694 | 2,919 |
| **税引前当期純利益** | **14,514** | **4,696** |
| 法人税等 | 885 | 1,441 |
| **当期純利益** | **13,629** | **3,255** |

# トピックス

## 「環境」への取り組み

当社は、環境と経済の融合による「持続可能な循環型社会」の構築に向けて、グループ全体で取り組んでいます。

2010年3月、ブラジル工場において環境の国際規格であるISO14001の認証を取得いたしました。これにより、グループの生産拠点である9工場すべてにおいて、同規格の認証取得を完了しております。

各工場では環境マネジメントシステムの運用とともに、環境負荷削減活動にも積極的に取り組みを行っており、当期は$CO_2$排出量を昨年比で18.2%削減いたしました。

製品の環境対策に関してはEU加盟国で2007年に施行されている化学物質規制（REACH）について、人間や環境への悪影響が懸念される高懸念物質（SVHC）の含有調査を行っております。2010年には認可対象物質の候補となる物質がさらに増加しており、含有情報収集が継続的に必要になっておりますが、当社グループはこの規制に対して適切に対応しております。

▲ ISO14001を取得したブラジル現地スタッフ

### REACH規制に対する当社の取り組み

2007年
規制に関するプロジェクトを発足。

2008年
欧州子会社で製造・輸入している製品に含まれる化学物質（年間1t以上）の予備登録を実施。

2009年
当社グループに納品している全取引先に高懸念物質の含有情報を収集。

**2010年（計画）**
新たに追加された認可物質候補に関して調査を開始。認可物質は早期代替化を推進。

## 東南海・三河地震65年 安城市民防災フェアに出展

▲ 製品の紹介をする当社スタッフ

当社は愛知県安城市において2009年12月に開催された参加型のイベントを通して総合的に防災を学ぶことを目的とした「東南海・三河地震65年 安城市民防災フェア」に出展しました。

瓦礫の下に埋もれた人を救助する際の救助用機材としてコンクリートを切断するエンジンカッタやエンジンチェンソー、発電機などを展示し、来場された小学生から大人まで幅広い年齢の方に製品の使用方法の紹介を行いました。

## ■ グローバルな販売・アフターサービス体制を強化

2009年11月、ベトナムにおいてタイ、インドネシアなど東南アジア市場向け代理店として長年取引実績のある泰盛貿易株式会社との合弁によりアジア8社目、マキタグループの海外現地法人46社目となる販売現地法人を設立し、2010年4月より営業を開始いたしました。2007年のWTO正式加盟等を経て市場経済化が進むベトナムは、今後も一層の市場の成長が期待されています。

また、ポーランドやオランダの現地法人では販売・アフターサービス体制の強化のため、社屋の建て替えを行いました。新社屋では倉庫の拡充により、物流の効率化を図るとともに、販売店様を対象とした研修プログラムのための施設を充実させております。

▲ ベトナム社屋

▲ ポーランド現地スタッフ

▲ オランダ研修風景

▲ スーパークロスレースの会場

▲ イベント用大型トレーラー

## ■ AMAスーパークロスレースに協賛

2010年1月、アメリカのカリフォルニア州にあるエンジェル・スタジアムにおいてバイクレースのAMAスーパークロスレースが開催され、当社子会社のマキタ・アメリカが協賛しました。スタジアムの大型スクリーンにもマキタの宣伝が上映され、訪れた4万人を超える観客にマキタを知っていただく良い機会となりました。

またスタジアムに隣接したイベント会場では、スポンサー企業としてマキタのイベント用大型トレーラーを設置し、製品の展示と実演を行いました。イベント会場には約2万人が訪れ、多くの来場者に当社の製品を実際に手に取って体験していただきました。

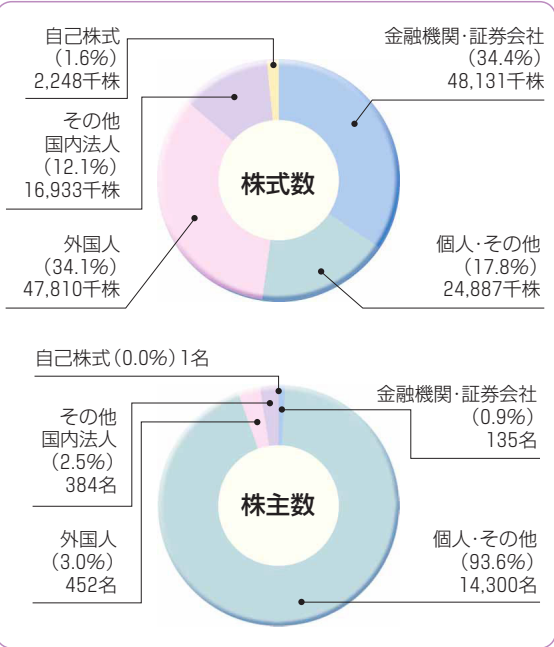
# 株式の状況

■ 発行可能株式総数　496,000,000株
■ 発行済株式の総数　140,008,760株（自己株式　2,248,358株を含む）
■ 株主数　15,272名（2009年3月末との比較　1,496名減）
■ 大株主（上位10名）

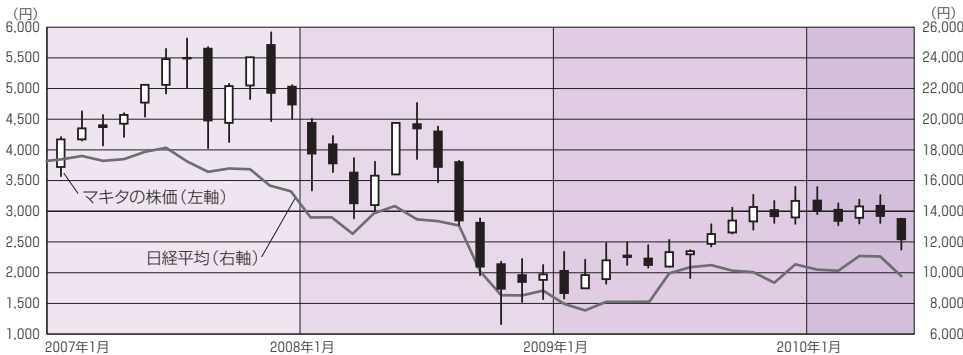
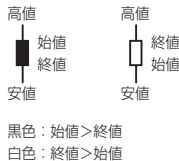
| 株　　主　　名 | 株式数（千株） | 持株比率（%） |
|---|---|---|
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口） | 8,193 | 5.85 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口） | 6,802 | 4.86 |
| 株式会社三菱東京UFJ銀行 | 4,213 | 3.01 |
| 日本生命保険相互会社 | 4,013 | 2.86 |
| ザ バンク オブ ニューヨーク メロン アズ デポジタリー バンク フォー デポジタリー レシート ホルダーズ | 3,896 | 2.78 |
| マキタ取引先投資会 | 3,875 | 2.77 |
| 株式会社マルワ | 3,669 | 2.62 |
| 株式会社三井住友銀行 | 2,900 | 2.07 |
| ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー 505225 | 2,348 | 1.68 |
| 後藤昌彦 | 1,987 | 1.42 |
| 合　　計 | 41,896 | 29.92 |

（注）1. 持株比率は当期末の発行済株式の総数（自己株式を含む）を基に算出しております。
2. ザ バンク オブ ニューヨーク メロン アズ デポジタリー バンク フォー デポジタリー レシート ホルダーズは、ADR（米国預託証券）の受託機関であるニューヨーク銀行の株式名義人であります。
3. 上記のほか、自己株式2,248千株を保有しております。

■ 所有者別の状況

（2010年3月31日現在）

■ 株価の推移

東京証券取引所における株価チャート

黒色：始値＞終値
白色：終値＞始値

■ 利益配分に関する基本方針

当社は、2004年3月期に利益配分に関する基本方針を定めており、年間配当金18円を下限とし、連結配当性向の30%以上としております。ただし特殊要因がある場合には、これを加減算した調整後の当社株主に帰属する当期純利益を基に配当額を決定いたします。また、自己株式の取得については、機動的な資本政策の遂行、資本効率の向上を通じた株主利益の増加を目的として、株価動向等を考慮した上で検討していく所存であります。

# 会社の概要

（2010年3月31日現在）

| | |
|---|---|
| 商号 | 株式会社 マキタ<br>Makita Corporation |
| 本社所在地 | 愛知県安城市住吉町３丁目11番８号<br>〒446-8502<br>TEL 0566-98-1711（代表）<br>ホームページアドレス　http://www.makita.co.jp/ |
| 創業 | 1915年（大正4年）3月21日 |
| 設立 | 1938年（昭和13年）12月10日 |
| 資本金 | 242億561万円 |
| 主な事業内容 | 電動工具、エア工具、園芸用機器、<br>家庭用機器等の製造・販売 |
| 連結子会社 | 48社（国内２社、海外46社）<br>主要な子会社<br>マキタ U.S.A.Inc.<br>マキタ（U.K.）Ltd.<br>マキタ・フランス SAS<br>マキタ・ヴェルクツォイク G.m.b.H.（ドイツ）<br>マキタ Oy（フィンランド）<br>マキタ・ガルフ FZE（アラブ首長国連邦）<br>マキタ・オーストラリア Pty.Ltd.<br>牧田（中国）有限公司<br>牧田（昆山）有限公司 |
| 工場 | 国内２ヶ所<br>海外７ヶ所（中国２ヶ所、米国、ブラジル、英国、ドイツ、ルーマニア） |
| 従業員数 | 連結 10,328人<br>単独　2,865人 |

（2010年6月25日現在）

## 取締役および監査役

### 取締役

| 役職 | 氏名 | 担当 |
|---|---|---|
| ※取締役社長 | 後藤昌彦 | |
| 取締役<br>常務執行役員 | 神崎康彦 | 海外営業担当<br>兼海外営業本部長（欧州・中近東・アフリカ担当） |
| 取締役<br>常務執行役員 | 鳥居忠良 | 生産担当兼生産本部長 |
| 取締役<br>常務執行役員 | 堀　司郎 | 海外営業担当<br>兼海外営業本部長（米州・アジア・オセアニア担当） |
| 取締役<br>執行役員 | 加藤友康 | 開発技術本部長（研究開発担当） |
| 取締役<br>執行役員 | 浅沼　正 | 国内営業担当兼国内営業本部長 |
| 取締役<br>執行役員 | 丹羽久能 | 品質本部長 |
| 取締役<br>執行役員 | 冨田真一郎 | 購買本部長 |
| 取締役<br>執行役員 | 金子哲久 | 生産本部長（中国工場担当） |
| 取締役<br>執行役員 | 青木洋二 | 管理本部長 |
| 社外取締役 | 横山元彦 | 株式会社ジェイテクト代表取締役 |

（注）1. ※印は代表取締役であります。
2. 横山元彦氏は当社が証券取引所の定めに基づき指定した独立役員であります。

### 監査役

| 役職 | 氏名 | 備考 |
|---|---|---|
| 常勤監査役 | 山添俊仁 | |
| 常勤監査役 | 久恒治人 | |
| 監査役 | 中村雅文 | （公認会計士） |
| 監査役 | 近藤倫行 | （弁護士） |

（注）久恒治人、中村雅文、近藤倫行の3氏は社外監査役であり、当社が証券取引所の定めに基づき指定した独立役員であります。

## 執行役員

| 役職 | 氏名 | 担当 |
|---|---|---|
| 執行役員 | 益子善次 | 国内営業本部長（東京営業部担当） |
| 執行役員 | 日向敏夫 | 国内営業本部長（大阪営業部担当） |
| 執行役員 | 岡本　啓 | マキタ U.S.A.Inc. 責任者 |
| 執行役員 | 木島民郎 | ドルマー G.m.b.H.（ドイツ）責任者 |
| 執行役員 | 横山　修 | 開発技術本部副本部長（製品開発担当） |

## 会計監査人

あずさ監査法人（KPMGメンバーファーム）

# 株主メモ

| | |
|---|---|
| 事業年度 | 4月1日から翌年3月31日まで |
| 定時株主総会 | 6月 |
| 単元株式数 | 100株 |
| 株主確定基準日 | 1）定時株主総会、期末配当金　3月31日<br>2）中間配当金　9月30日 |
| 株主名簿管理人 | 中央三井信託銀行株式会社<br>〒105-8574　東京都港区芝三丁目33番1号 |
| 同事務取扱場所 | 〒460-8685　名古屋市中区栄三丁目15番33号<br>中央三井信託銀行株式会社　名古屋支店証券代行部 |
| 郵便物送付先 | 〒168-0063　東京都杉並区和泉二丁目8番4号<br>中央三井信託銀行株式会社　証券代行部 |
| （電話照会先） | 電話　0120-78-2031（フリーダイヤル）<br>取次事務は中央三井信託銀行株式会社の本店および全国各支店ならびに日本証券代行株式会社の本店および全国各支店で行っております。 |
| 公告方法 | 電子公告 |
| 電子公告掲載アドレス | http://www.makita.co.jp/ir/index1.htm |
| 上場証券市場 | 国内：東京、名古屋　証券コード　6586<br>海外：米国ナスダック　証券コードMKTAY |

【お知らせ】

1. 住所変更、単元未満株式の買取·買増等のお申出先について
   株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。
2. 未払配当金の支払いについて
   株主名簿管理人である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。
3. 株主様のご住所·お名前に使用する文字に関してのご案内
   株券電子化に伴い、株主様のご住所·お名前の文字に、株式会社証券保管振替機構（ほふり）が振替制度で指定していない漢字等が含まれている場合は、その全部または一部をほふりが指定した文字またはカタカナに変換して、株主名簿にご登録いたしております。このため、株主様にご送付する通知物の宛先が、ほふりが指定した文字に置換えられる場合がありますのでご了承ください。株主様のご住所·お名前として登録されている文字については、お取引の証券会社等にお問い合せください。
4. 配当金計算書について
   配当金支払いの際送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主様につきましても、本年より配当支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいております。
   ＊確定申告をなされる株主様は、大切に保管してください。

## ホームページのご案内

ホームページを通じて、企業活動や製品に関する詳しい情報をご覧いただけます。

【製品情報】

新製品のご紹介、電動工具、エア工具、ホーム用電動工具、園芸用機器等の各種カタログのほか、電動工具を使ってできる工作特集や取扱説明書がご覧いただけます。

【企業情報】

当社の概要や沿革などがご覧いただけます。

【投資家情報】

業績の推移、決算情報、プレスリリースのほか決算発表予定日などの情報をタイムリーに提供しております。

▲マキタ トップページ
**http://www.makita.co.jp/**

▲投資家向け情報サイト
**http://www.makita.co.jp/ir/index.html**


# 株式会社 マキタ

〒446-8502 愛知県安城市住吉町3丁目11番8号
Tel:0566-98-1711（代表） Fax:0566-98-5580
マキタホームページ　http://www.makita.co.jp/